

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年3月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2870201080		
法人名	株式会社日本ウエルフェア		
事業所名	グループホーム ひまわりの家		
所在地	神戸市灘区都通3-2-5 (電話)078-861-8619		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年3月7日

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄の駅より徒歩3分という利便性に恵まれたホームである。周辺は緑も多くホーム南側には西求女塚史跡の公園が広がり、入居者は日々の暮らしの中で公園の花壇の世話や散歩・落ち葉拾い等、個々の思いにそった時間を過ごしており、四季の変化の美しさを感じながら穏かな日々を送っている。理念の中に掲げている。「安らぎと喜びのある毎日を」の思いを職員は意識し、介護する側からの一方的な働きかけにならないよう入居者と一緒に過ごし喜怒哀楽を共にする関係を築いている。ホームの暮らしの中の色々な場面で「ありがとう」の感謝の言葉が職員と入居者の間で自然に交わされ、支え合う関係が継続されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 前回評価は管理者が意義について説明し職員全体で評価結果を検討した。前回要改善となった職員研修は研修計画作成により年間を通じて職員が段階的にスキルアップできるよう改善した。また、家族が意見や苦情を積極的に伝えやすいよう、重要事項説明書に外部機関を含む苦情相談窓口を明示するよう配慮した。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 自己評価は管理者が新人を含む職員全員に評価の目的や活かし方を説明し、各フロアリーダーが中心になり職員一人ひとりが評価項目にそって日常のケアを振り返るよう取り組んでいった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 運営推進会議ではホームの現状・基本理念・評価結果・地域密着型サービスの説明等タイムリーな話題を取り上げ報告するとともに、参加者からもそれぞれの立場から近況を報告してもらえるよう働きかけている。会議で出された意見や提案は職員間で検討しサービスの質向上に活かしている。会議の議事録はホーム内に設置し家族等が見やすいよう配慮している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 職員は家族が面会時に気軽に相談や意見が伝えられるよう配慮するとともに、毎月家族に入居者の暮らしの様子を写真を添えて送付している。また個々の入居者の写真をファイルし家族面会時等に見てもらおう取り組んでいる。家族会や運営推進会議等での意見は職員間で検討し改善に繋げている。家族会の議事録は家族等が見やすいようリビングに設置している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 地域自治会に加入し、ホーム前の公園の清掃や花壇の水やり等を入居者の身体の状態に応じて手伝っていきよう取り組んでいる。自治会館がホームに隣接している為、自治会との関わりが継続され、気軽な声掛けがあると共に餅つきやお祭り等の行事への参加が継続している。

【情報提供票より】 平成19年12月6日事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤 6人, 非常勤 4 人, 常勤換算 7,8	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての	2,3	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	82,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(500,000円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 450 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (平成19年12月6日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	1	要介護2	3
要介護3	5	要介護4	5
要介護5	4	要支援2	
年齢	平均 83 歳	最低 68 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	金沢病院・下地医院・甲南病院・尾村歯科・岡田整形外科
---------	----------------------------

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての役割を理解し「地域とのふれあいを通じ地域社会に貢献する」を理念の中で掲げ、地域との関わりを重視していく姿勢を大切にしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はリビングのわかりやすい場所に掲げ、具体的に日常のケアサービスに反映できるよう職員会議やカンファレンスだけでなく日常的に話し合う機会が持てるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に加入し、ホーム前の公園の清掃や花壇の水やり等を入居者の身体の状態に応じて手伝っている。自治会館がホームに隣接している為、自治会との関わりが継続され、気軽な声掛けがあると共に餅つきやお祭り等の行事への参加が継続している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価は会議の中で管理者が意義について説明し、職員全体で評価票を確認しながら改善策について検討した。自己評価は管理者が新人を含む職員全員に評価の目的や活かし方を説明し、各フロアリーダーが中心になり職員一人ひとりが評価項目にそって日常のケアを振り返るよう取り組んでいった。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3,4ヶ月に1回の開催になっている。ホームの現状・基本理念・評価結果・地域密着型サービスの説明等タイムリーな話題を取り上げ報告するとともに、参加者からもそれぞれの立場から近況を報告してもらおうよう働きかけている。会議で出された意見や提案はホーム内で検討しサービスの質向上に活かしている。会議の議事録はリビングに設置し家族等が見やすいよう配慮している。</p>		<p>運営会議で出された意見や提案事項をホーム内で検討し改善計画・結果を運営委員会で報告し、サービスの質向上に活かされる取り組みを期待する。今後は概ね2ヶ月に1回の会議の開催が望まれる。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの参加があり、会議以外においても交流を保ち情報交換等行っている。</p>		<p>運営推進会議等での市との関わりを深めるとともに、今後の積極的な連携への取り組みに期待する。</p>
4.理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、家族に入居者の暮らしの様子を写真を添えて送付している。金銭管理についても毎月預かり金の状況を報告している。入居者に急な状態変化がある場合は随時家族へ連絡し、経過を記録に残している。個々の入居者の写真をファイルし、家族面会時等に見てもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者や職員は家族が面会時に気軽に相談や意見が伝えられるよう心掛けるとともに、苦情相談窓口について重要事項説明書に明記し入居時に説明している。家族会や運営推進会議等で出された意見は職員間で検討しサービスの質向上に繋げている。家族会や運営推進会議の議事録・第三者評価結果は、家族等が見やすいようリビングに設置している。</p>		<p>ホーム全体の状況や行事の様子・職員の異動等を伝える為にホーム便りを定期的に発行していく事を期待する。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動を防ぐ為に、職員の悩みや相談に対して管理者やフロアリーダーが対応しストレスの軽減に努めている。入居者との馴染みの関係を維持するために、各ユニットの職員は固定化しているが、ホーム行事の参加などを通じて他フロアの入居者の状況も把握できる機会があり、柔軟な支援ができるよう配慮している。</p>		
5.人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員研修は研修計画策定のもとデイサービス職員とともに定期的な受講ができるよう取り組んでいる。新人職員に対しては新人研修を実施しており、現任の職員へは外部研修案内など情報提供し参加を促している。研修受講後は報告書を作成し全体会議やカンファレンス等で伝えている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は状況に応じて地域のグループホームとの交流を図るよう努めているが、地域間での連絡会等がなく職員間の交流の機会も少ない。</p>		<p>市や地域包括支援センター等に働きかけ、地域内で連絡会を設置し連携を図っていく事が望まれる。また事業所間での職員の交換研修等の試みの工夫が期待される。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前から本人や家族と話し合いを重ね、本人の意向や要望を把握し、担当のケアマネジャーからの情報収集も参考にしていこう努めている。本人・家族に入居前のホーム見学を勧め、希望があれば体験利用もできるよう配慮している。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	暮らしの中で介護する側からの一方的な働きかけにならないよう配慮し、共に過ごし支えあう場面を日常の暮らしの中に作るよう取り組んでいる。職員は入居者と同じ目線で話すよう努め、入居者の話をよく聴き受け止めていくよう心がけている。暮らしの色々な場面で「ありがとう」の言葉が職員と入居者の間で自然に交わされている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活の背景を把握する為にセンター方式を活用し記録に残している。入居時の本人・家族との面接で確認していくと共に、日常の暮らしの中で入居者の言葉や表情から思いや希望を把握し、その都度記録に追加し情報を共有している。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	フェイスシート等を活かし本人・家族の意向が反映されるようカンファレンスにて職員間で検討後介護計画を作成している。作成後の計画は家族に説明し同意をもらっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的には3ヶ月に1回介護計画を見直し、入居者の変化や家族の希望があった場合は随時の変更を行っている。		入居者に状態変化が見られない安定した状況においても、月に1回程度は本人の現状を確認し計画の振り返りや見直しを行う事が望ましい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の入院について、職員は面会や送迎等の支援を行っている。入居者の健康管理は医療連携体制を整え24時間体制で対応している。かかりつけ医への通院を希望する場合は状況に応じて職員が付き添う等柔軟に対応できるよう配慮している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医やかかりつけ医については家族の意向を大切に希望に添えるよう対応している。協力医の定期的な往診による健康管理があるとともに、かかりつけ医への受診については入居者の健康状態を文書にて情報提供できるように努めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の重度化や看取りに関してホームの方針を文書にて入居時や家族会で説明し家族の意向を聴いている。入居者の状態に応じて、その都度家族や担当医と話し合い今後の対応について方向性が統一されるよう努めている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の保護を含むプライバシーの確保について、職員は定期的に研修し、日常での入居者への態度や言葉づかいに「敬う」気持ちを持ち接するよう心掛けている。個人記録については保管場所は施錠できるように配慮している。家族には個人情報の利用目的については入居時に文書にて説明し同意を得ている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の意向や希望についてセンター方式を活用し把握するよう努めている。日々の暮らしの中で入居者が希望を表しやすいよう配慮し自己決定できるよう支援している。入浴時間・身だしなみや服装の選択・食事のペース等本人の希望にそって支援を行っている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>昼食は調理済みの食事が提供されているが、朝夕はホームにて食事作りを行っている。入居者の希望や状態を見極め、個々に応じた調理・配膳・お盆拭き・食器洗い等の役割があり、食事作りの一連の流れの中で入居者間での協力しあう姿も見られた。職員も入居者と共に会話を楽しみながら食事している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は基本的な決まりがあるが、季節によってはシャワー浴を行い足浴は毎日できるよう取り組んでいる。入浴時間は本人の希望の時間にそってゆっくり入浴ができるよう体制を整えている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の得意な事・関心のある事をフェイスシート等で把握し、日常の暮らしの中でも確認していきレクリエーションの時間に取り入れるよう配慮している。生活の中で食事作り・洗濯物たたみ・花の水やり・ホーム内の清掃などの役割の場面があり、本人が無理なくできるよう働きかけている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間の行事予定を立て、四季の変化にそった外出（桜祭り等）やコンサート・ドライブ・外食等入居者の意向や希望を聞きながら支援している。日常の暮らしの中でホーム前の公園に散歩する機会があり、四季の変化を感じ五感の刺激となっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関は日中は開錠しており、エレベータやベランダも自由な出入りが可能である。入居者はベランダで花を育てたり洗濯物を干す等されている。安全面への配慮として警察の協力を得てホーム周辺の見回りを行ってもらっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間を想定した消防訓練を年に2回実施している。非常災害時に備え、物品等の備蓄がある。緊急連絡体制を整え災害時等に迅速な行動ができるよう取り組んでいる。		今後は運営推進会議等で地域の協力を呼びかけ、災害時に地域との連携が得られる事が望ましい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の食事水分摂取量は記録に残している。入居者の健康状態・嗜好の変化等を把握し、委託業者との相談や職員間で検討し、その都度個別に対応できるよう配慮している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングでは四季の変化が感じられるよう季節に応じた入居者の作品や四季折々の花を飾っている。みんなで過ごし語り合えるテーブル、ゆったりとくつろげるソファ、落ち着いた雰囲気のと室のスペース等個々の入居者が思い思いに過ごせる空間を工夫している。エアコンや加湿器による調整や換気にてホーム内の温度や湿度管理に配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族の意向を取り入れ、個々の入居者の過ごしてきた暮らしにそって使い慣れた三面鏡・仏壇・家具等を持ち込みゆったりと過ごしている。各部屋は入り口にのれんや気に入った装飾品を飾り区別し、表札は入居者の目線に合わせ見やすいよう配慮している。ベランダへの出入りは自由で、気分転換の場となっている。</p>		

 は、重点項目。